



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月14日

上場会社名 株式会社バリューHR 上場取引所 東
 コード番号 6078 URL <https://www.valuehr.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 美智雄
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長 (氏名) 藤田 源太郎 TEL 03-6380-1300
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	1,071	21.7	238	44.0	228	—	150	—
2018年12月期第1四半期	880	24.7	165	38.9	7	△93.2	2	△96.1

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 177百万円 (—%) 2018年12月期第1四半期 △5百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	25.45	25.15
2018年12月期第1四半期	0.46	0.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	11,129	2,287	20.5	386.63
2018年12月期	10,768	2,264	21.0	381.14

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 2,285百万円 2018年12月期 2,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	8.50	—	15.50	24.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	13.00	—	17.00	30.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

※配当予想の修正については、本日（2019年5月14日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,233	17.9	778	34.5	734	87.0	483	98.9	81.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

注) 詳細は、添付資料の7ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 1 Q	6,056,200株	2018年12月期	6,050,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	146,021株	2018年12月期	116,321株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 1 Q	5,926,321株	2018年12月期 1 Q	5,710,956株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料の3ページを参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業領域においては、働き方改革の実践や健康経営・健康投資の推進などといった社会環境の変化を受け、従業員一人ひとりの労働生産性の維持・向上に向けた健康増進の重要性が一層の高まりを見せております。また、企業における従業員に対する健康管理（健診受診と保健指導の実施、メンタルヘルス対策や過重労働対策等）への取り組みは、安全配慮義務、生産性向上、企業価値向上の観点からも、ますます強化される傾向にあります。

そのような環境のもと、当社グループは「健康管理のインフラを目指す」を事業ビジョンとして、健康保険組合、企業、個人を対象に、独自のシステムを用いた健康管理サービスを以下の2つの事業セグメントにより展開しております。

バリューカフェテリア事業

主に健康保険組合、企業等の団体などを対象としたバリューカフェテリア®システムと、これを構成する健康管理各種サービス（健診予約システム、健診結果管理システム等）やカフェテリアプランの提供及びこれらのシステムを使った健康管理に付随する事務代行サービス、並びに健診機関への業務支援サービス等で構成されております。

HRマネジメント事業

主に健康保険組合のより効率的な運営の支援を目的として、健康保険組合の新規設立支援のコンサルティング及び健康保険組合の運営支援としての人材派遣やBPOサービス等の業務で構成されております。

当第1四半期連結累計期間は、前期に引き続き働き方改革や健康経営の推進などの社会環境の変化を背景に、バリューカフェテリア事業での新規顧客の獲得や既存顧客によるサービス利用の受託業務が増加し、営業活動における経営成績を大きく牽引しました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が大きく増加した主な要因は、前年同四半期におきまして事業拡大への対応として事業用固定資産取得に伴う資金調達に係る費用（シンジケートローン手数料170,000千円）を営業外費用に計上してはいたしましたが、当第1四半期連結累計期間では、当該営業外費用の計上がなかったことによります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,071,399千円（前年同四半期比21.7%増）、営業利益は238,694千円（同44.0%増）、経常利益は228,129千円（前年同四半期は経常利益7,522千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は150,855千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,677千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

バリューカフェテリア事業

当第1四半期連結累計期間は、健診代行や健康管理関連事業において、新規顧客の獲得と既存顧客からの受託業務の増加により取扱業務が拡大したことから当該関連収入が大幅に増加しました。これにより、売上高は846,098千円（前年同四半期比20.0%増）、営業利益は321,174千円（同19.2%増）となりました。

HRマネジメント事業

当第1四半期連結累計期間は、前期に受注した健康保険組合の設立支援コンサルティングの継続対応に加え、新規設立の健康保険組合運営支援業務等の受注が増加しました。これにより、売上高は225,300千円（前年同四半期比28.4%増）、営業利益は60,329千円（同115.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,831,849千円(前連結会計年度末は2,535,785千円)となり、296,063千円増加しました。これは、現金及び預金は131,977千円減少しておりますが、当第1四半期連結累計期間はカフェテリアサービス利用のピーク時期にあたることから、その他の流動資産に含まれる未収入金が400,874千円増加したことが主な要因です。固定資産は8,297,790千円(前連結会計年度末は8,232,439千円)となり、65,351千円増加しました。これは、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が36,711千円増加したこと及び投資その他の資産に含まれる投資有価証券が38,467千円増加したことが主な要因です。これらの結果、総資産は11,129,639千円(前連結会計年度末は10,768,224千円)となり、361,415千円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,048,870千円(前連結会計年度末は2,720,575千円)となり、328,294千円増加しました。これは、当第1四半期連結累計期間はカフェテリアサービス利用のピーク時期にあたることから、その他の流動負債に含まれる未払金が249,268千円増加したこと及び営業預り金が96,634千円増加したこと等が要因です。固定負債は5,793,358千円(前連結会計年度末は5,783,172千円)となり、10,185千円増加しました。これは、主に長期借入金の返済により39,612千円減少しておりますが、その他に含まれる長期リース債務37,619千円及び、長期預り保証金11,191千円が増加したことが要因です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,287,411千円(前連結会計年度末は2,264,476千円)となり、22,934千円増加しました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益150,855千円、その他有価証券評価差額金26,982千円の増加、配当金91,972千円の支払い及び自己株式69,210千円の取得等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、前期に引き続き働き方改革や健康経営の推進を受けて需要が拡大している健康管理各種サービスを展開するバリューカフェテリア事業が連結全体の売上高・利益ともに好調に推移いたしました。なお、前述のとおり足元の営業活動による業績は好調に推移していることから、通期の業績予想は上回る見通しではありますが、現時点においては、前回公表予想を据え置いております。

当第2四半期連結会計期間以降、データヘルス共同事業、ヘルスカフェテリア(健保応援)カード等の既存サービスに加え、新規サービスのリリースを計画していることから、売上高・利益等の増加が見込まれます。

上記の内容も含め、今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

*「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,900,124	1,768,146
売掛金	365,584	320,159
商品	1,691	3,254
仕掛品	3,281	5,666
貯蔵品	19,692	25,294
その他	245,411	709,327
流動資産合計	2,535,785	2,831,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	700,340	695,689
土地	6,224,802	6,224,802
その他(純額)	491,546	531,075
有形固定資産合計	7,416,690	7,451,567
無形固定資産	253,504	257,177
投資その他の資産	562,244	589,045
固定資産合計	8,232,439	8,297,790
資産合計	10,768,224	11,129,639
負債の部		
流動負債		
買掛金	92,819	147,652
短期借入金	189,956	171,056
未払法人税等	108,504	86,028
預り金	1,188,349	1,236,038
その他	1,140,946	1,408,094
流動負債合計	2,720,575	3,048,870
固定負債		
長期借入金	5,650,332	5,610,720
その他	132,840	182,638
固定負債合計	5,783,172	5,793,358
負債合計	8,503,748	8,842,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,796	519,213
資本剰余金	559,707	563,125
利益剰余金	1,355,904	1,414,788
自己株式	△207,476	△276,686
株主資本合計	2,223,932	2,220,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,643	64,625
その他の包括利益累計額合計	37,643	64,625
新株予約権	2,901	2,345
純資産合計	2,264,476	2,287,411
負債純資産合計	10,768,224	11,129,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	880,381	1,071,399
売上原価	501,520	600,867
売上総利益	378,861	470,531
販売費及び一般管理費	213,146	231,837
営業利益	165,714	238,694
営業外収益		
受取利息	5	4
未払配当金除斥益	203	159
補助金収入	17,496	-
その他	219	35
営業外収益合計	17,924	200
営業外費用		
支払利息	5,669	9,691
シンジケートローン手数料	170,025	75
その他	421	997
営業外費用合計	176,116	10,765
経常利益	7,522	228,129
特別利益		
新株予約権戻入益	-	440
特別利益合計	-	440
税金等調整前四半期純利益	7,522	228,569
法人税等	4,844	77,713
四半期純利益	2,677	150,855
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,677	150,855

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	2,677	150,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,574	26,982
その他の包括利益合計	△8,574	26,982
四半期包括利益	△5,897	177,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,897	177,838
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフ テリア事業	HRマネジ メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	704,903	175,477	880,381	—	880,381
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	704,903	175,477	880,381	—	880,381
セグメント利益	269,504	28,013	297,518	△131,804	165,714

(注) 1. セグメント利益の調整額△131,804千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフ テリア事業	HRマネジ メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	846,098	225,300	1,071,399	—	1,071,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	846,098	225,300	1,071,399	—	1,071,399
セグメント利益	321,174	60,329	381,504	△142,809	238,694

(注) 1. セグメント利益の調整額△142,809千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。